



年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合

代表理事組合長

黒田 洋一

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新年を迎えられましたこととお喜び申し上げます。

昨年の四月に篠田前組合長からその責を受け継ぎ果たすべき努力をしてきたところです。農家組合員をはじめ従業員の支えによりなんとか年始を迎えることができました。感謝するとともにいっそうの精進を誓わせていただきます。

昨年令和四年は、ロシアのウクライナ侵攻の情勢不安と円安による資材高騰、生活面でも燃料と食料品を中心とした物価の上昇、収束しない新型コロナウイルス感染等、私たちを取り巻く環境は厳しさを増しました。

明るい話題が少ない環境下ではありましたが、令和四年の農作物は全般的に良い作柄となりました。基幹作物である水稲の作況指数「一〇六」と前年に引き続き豊作であり、品質面においても高い

比率で低タンパク米が生産されました。畑作、花卉野菜においては令和三年度における干ばつのような大きな被害もなく前年を上回る作柄でありました。とりわけ花卉やミニトマトにおいては近年になり高単価となったなど、総じて生産者の努力が報われた年であったと思われまます。生産者の皆様に改めて敬意と感謝を申し上げます。

米の需給環境は、徐々に均衡に向け推移しているとありますが依然、全国的には余剰在庫が解消されるまで至っていない状況であります。今年度の生産の目安は前年度の作付けを前提に同様の対応が求められると思われまます。そのようなか当農協は早期契約を中心に認められ求められる産地として集荷と品質面の安定向上を至上命題とし農家経済向上に向け努力させていただく所存です。

また、水田活用交付金の見直しでは、水張り要件の緩和策が示され、一方で国が推進する畑地化も

視野に入れながら農家にとって最善の選択となるよう農家に寄り添い、良策を提案できればと思います。行政、土地改良区、農業委員会等の各関係組織と連携し、今後の情勢を見極めながら取り組んでいきます。

昨年から大きく提言されている食料安全保障は、食料自給率向上とともに国の政策としてもっと強力に推進すべきなのに未だに国民全体に浸透するまで至っていません。麦、大豆などの生産をもっと振興しなければならぬところ、いわゆるゲタ対策の単価を下げたりと、ちぐはぐな政策になっている現状を、もう少し明確な方向性を持った農政に変えるよう働きかけが必要と考えまます。自国の食料は自国の生産物でとの意識を根づかせる政策を強く望んでいます。

以上、令和四年を振り返り今年度の課題を述べましたが、新年度を迎え、また新たな気持ちで取り組んでいく所存です。

令和五年が希望に満ちた明るい話題が多い年であること。農家の皆さんの汗が報われる豊穡の年となること。そして、地域の皆さんの笑顔があふれる幸多き年でありまますことを念願し、年頭のご挨拶といたします。





年頭のご挨拶

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長

小野寺 俊幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の本道農業につきまして、春先は天候に恵まれ地域によって少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しておりました。ただ、六月の降雹、八月の記録的な大雨、九月の台風により、一部地域、作物によっては、生育に大きな影響が出たものがありました。収穫作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、各農畜

産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、J A グループ北海道としてしっかりとその対応を図って参ります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

J A グループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年、第三〇回 J A 北海道大

会の実践二年度目となります。決議された将来ビジョンである「北海道五〇万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があるとす。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、J A グループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自国で生産するという「国消国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となつてしっかりと取り組んで参りましょう。

結びになりますが、本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、新型コロナウイルスの一日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。



年頭のご挨拶

空知農業改良普及センター

北空知支所

支所長

田川 洋一

一



新年明けましておめでとうございます。北いぶき農業協同組合の役員、組合員・御家族の皆様におかれましては、益々御健勝の事とお慶び申し上げます。また、日頃より普及センターの活動に御協力を賜りお礼申し上げます。

本年の干支は癸卯（みずのとう）。「癸」は温かく大地を潤す恵みの水を表し、「卯」は穏やかなうさぎの様子から安全、温和を表すと言われております。農業にとって縁起が良く、平和でうさぎのように飛躍できる年にしたいものです。

令和四年を振り返ると、水稻は、移植苗の生育は概ね平年並でしたが、移植後の五月後半から低温となり、活着が遅れる圃場が見られました。活着後は日照時間が平年を上回り、茎数は平年並を確保できました。直播栽培についても例年に無く順調な出芽・苗立ちとなりました。その後は高温で経過したため出穂期、成熟期ともに平

年より早まりました。総粒数は平年並で千粒重がやや重く、一昨年のような胴割れ粒や白未熟粒は少なく、三年連続の豊作となりました。さらには、米粒中の蛋白質含有率が低く、「美しく、味の良い米」正に美味しい米が生産されました。

秋まき小麦は、前年の根雪が遅れ過繁茂傾向でしたが、雪腐病の発生は少なく生育は順調でした。穂数は平年より多くなり、降雨により一部で倒伏が見られました。出穂期、成熟期ともに平年並で、登熟状態が良く、地域間差はあったものの収量・品質は平年並を確保できました。令和五年産に向けた播種作業は順調に終了し、生育状況は良好です。

大豆は、播種期は平年並で、その後の出芽や生育も平年並でした。七月が高温で経過したことから、開花期は早まりました。成熟期は平年より早まり、収穫作業も順調に進み、平年より早く終わりました。被害粒は少なく品質は良

好でした。

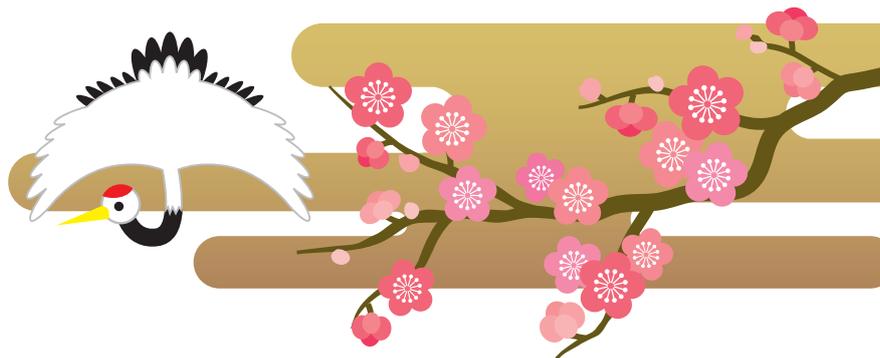
そばは、播種作業が平年並に始まり、出芽揃は良好でしたが、碎土や透排水性が不良の圃場では出芽不良となりました。その後、六月後半の大雨で根腐れによる枯死が見られました。六月下旬から七月中旬にかけて気温が上昇し、開花したものの実が付かない「花そば」の発生が懸念されましたが、収量は平年を上回りました。

花きは、五月の高温・多照により、全般的に生育順調でスタートし、一時低温はあったものの六月下旬から七月中旬にかけての高温で生育や出荷が前倒しとなりました。各目目ともに順調に出荷され、出荷販売数量は、前年比一〇〇%となり、優良産地として市場ニーズが高いことから、販売金額は前年を大きく上回っている状況です。

昨年は全般的に大きな災害が無く、各農作物の作柄は平年並から、それ以上の成績であり、生産者各位の基本技術の励行と日々の努力の賜と敬意を表する次第です。

本年もコロナ禍、ウクライナ情勢、円安により、厳しい環境は続きますが、普及センターとしては、関係機関と連携し、主食用米を中心としながらも畑作物、園芸作物、

飼料作物等を経営スタイルに合わせて組み合わせ、最大限の所得とゆとりを確保できる方策や技術改良をご提案し、経営改善を支援していきたいと考えております。結びに本年が皆様にとって益々御健勝で実り多い年となりますようご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合

青年部 部長

楠本

学



新年あけましておめでとうございます。日頃より組合員の皆様には、我々青年部に格段のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。また、三町行政、各関係機関、各関係団体の皆様におかれましても、多大なるご指導、ご協力を頂いておりますことを重ねてお礼申し上げます。

さて、令和四年を振り返り、営農に目を向けますと、気象経過について降水量は平年並みで日照時間も多く、気温も高く推移し、生育は順調に進んだかと思われれます。基幹作物である水稲においては、近年に続きタンパク値が低く推移し、作況指数も「一〇六」の「良」と発表され、四年連続の平年作以上と、喜ばしい結果となりました。

青年部活動については、依然変わらずコロナ禍で活動が制限されてはいるものの、まん延防止等重点措置の解除やワクチン接種に伴う行動の緩和傾向により、昨年、

一昨年よりも盛んな活動をすることができました。

本部事業においては、令和元年以来三年ぶりとなる「青年部の日」を開催。三支部混合のチームでキックベース大会を実施し、盟友同士の交流を深める貴重な時間を過ごすことができました。その他、各支部の事業においても、夏には沼田支部を中心とした「沼田町夜高あんどん祭り」への参加や、妹背牛支部では焼肉祭りに代わる「豊年祈願出店祭り」を開催し、町を盛り上げました。さらに、農繁期後には支部並びに本部事業として視察研修も実施することができた為、より一層コロナ禍以前の活動を取り戻しつつあることを実感し、嬉しく思っています。

また、スノーメッセージやファームレター、そして、支部での食育事業や米販売促進事業では、我々の農業に対する想い、安全・安心への取り組み、さらには食の大切さを消費者に伝えるため

に活動して参りました。こうした青年部の活動や交流会事業を通して、青年部盟友が一つのことに向かって団結し、事業を成し遂げていくことができれば、これからの農業経営や地域の発展に繋がると考えています。JA北いぶき青年部として何をすべきか考え続けながら、次年度以降も実りのある事業展開を実施していきたいと思っています。

昨年の農業情勢に関しては、化学肥料の価格高騰が、我々生産者を非常に悩ませたかと思われまます。中国による輸出規制やロシアのウクライナ侵攻による世界有数の肥料輸出国からの輸出が停滞したことで、限られた肥料輸出国に世界中から需要が集中した為、さらにひっ迫するとともに、世界的に原料調達の見通しに不安が高まっています。また、高水準で推移する燃料価格だけではなく、それに伴う海上輸送費の高騰の影響もあります。さらに、外国為替相場については、日米の金利差の拡大を受け、急激に円安が進行了しました。このような国際情勢により、窒素、りん酸、カリ等の国際市況は、史上最高値まで上昇し、今後も高水準で推移することが見込まれるでしょう。これに対

し国や自治体では、化学肥料購入に係る支援金給付事業が発足しておりますが、根本となる国際情勢の落ち着きを祈るばかりです。

我々青年部は、時代に合わせた事業展開を図っていき、諸活動を通じて仲間を作り、より一層活動を充実させることで、この先の流れの早い時代の波に備えていきたいと思えます。そして、地域社会、地域農業に貢献できるように青年部組織になっていきたいと考えておりますので、組合員の皆様、各関係機関の方々の、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に組合員の皆様、青年部の皆様のますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。





年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合

女性部 部長

戸村 千代美

新年あけましておめでとうございます。令和五年の新春を迎え心新たにされていきますことと、推察申し上げます。

平素より、組合員の皆様には、私達女性部に格段のご理解をいただいておりますこと、心よりお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、二月二十四日から、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まり、事態が長期化する中、日本の農業や食料安全保障にも大きな影響が出ています。肥料や飼料をはじめ、ハウス資材など幅広い農業資材、輸入農畜産物や原油価格、物流費の高騰を受け、食料品・サービスなど幅広い分野で値上げの動きが広がっています。いつ収束に向かうのか見通せない状況の中、家計を預かる私達にも生活の見直しを考えていかななくてはならないと、思う日々です。連日ウクライナ現地の映像が届き、罪もない幼い子や人々が亡くなっていく現実には

さを感じています。少しでも早くウクライナの人々に笑顔を取り戻してほしいですし、平和な日常生活を送れるように心から祈るばかりです。

また、新型コロナウイルス感染症は、感染力の強い変異株に変化していく中、私達女性部活動も感染防止対策をしながら、行事を再開していこうと役員一丸となって進めてまいりました。

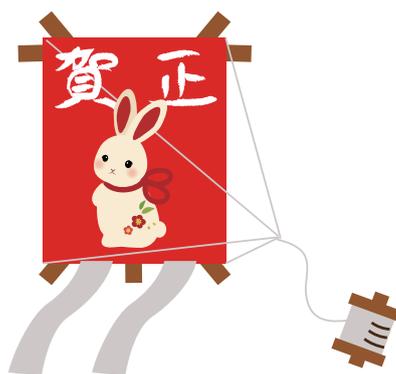
令和四年度の女性部活動については、本部事業として、三支部での部員研修を開催し、映画鑑賞で「奇跡のリング」を上映しました。

さらに、三年に一度の女性部加入推進イベントとして、札幌のアンサンブルグループ「奏楽(そら)」の方々をお招きしての音楽演奏会を開催しました。過去のイベントでは、著名人をお呼びして講演会を開催しておりましたが、形式を変え、コロナウイルス感染対策を施しながら開催できたことは、今後の活動の幅を広げるいい機会に

なったのではと思います。併せて、コロナ禍で演奏の機会が少なくなっている管内の中学校吹奏楽部にも声をかけ、沼田中学校と秩父別中学校の皆さんにも協力していただき、開催することができました。改めまして、参加していただいた皆様、大変ありがとうございました。

コロナウイルス感染への不安が残る日々が続く中ではありますが、女性部活動を通じて、地域や仲間とのつながりを大切に楽しく活動が続けていきたいと思っております。

これからも組合員の皆様、各関係機関の方々より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年も皆様に健康で幸せ多い一年になりますよう心よりご祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。





妹背牛地区

冬期 農事組合別組合員懇談会 女性部との懇談会

十二月二日、九日、十日に各地区農事組合別、また女性部三支部合同での懇談会を開催しました。

J A代表者からの現況報告として、「令和四年産農畜産物販売支払高見込み」「うるち米をめぐる情勢」や「令和五年営農計画書に係る主食用米の販売収入計画」等、営農販売事業を中心に二十五項目について、多岐にわたる報告・説明をさせて頂きました。

出席された皆様からは貴重なご意見やご質問、ご要望を頂きました。これらを基に、今後のJ A事業がより良くなるよう役職員一同努めてまいります。



質疑の場面 有馬勇さん(妹背牛地区・妹背牛北)



令和4年度最後となる農事組合長会議でした

第四回 農事組合長会議

十一月三十日、まちなかほっとタウンにて、令和四年度第四回目となる農事組合長会議を開催しました。

黒田組合長、横山沼田町長、田川普及センター北空知支所長の挨拶では、令和四年の作柄に触れ、水稻をはじめとするJ A管内での農産物が豊作・高品質傾向であったことを喜びました。

普及センターからは、令和四年産農作物生育概要として、主に水稻について、気象経過とともに生育状況を解説。また、近年の低タンパク質傾向について、その要因とされる事由が報告されました。

その後J Aより、米穀農産事業部からの報告事項を中心に農産物の販売状況、うるち米をめぐる情勢、中間米・屑米の精算等、十一項目について説明させて頂きました。



水分サンプルを採取

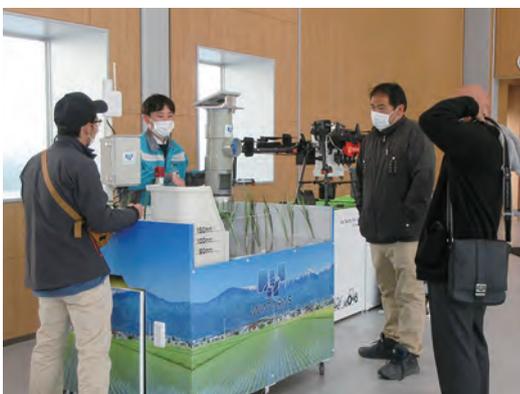


ホッパーへ流し計量を行います

十一月一日より、沼田農産物調製施設にて令和四年産大豆の集荷を開始しました。JA北いぶき管内では、米の収穫・出荷が落ちつきを見せだした十月中旬より、大豆の刈り取りが始まりました。集荷については十一月二十一日まで受入し、調製は、十一月下旬まで行われました。

品質については、一年を通して好天に恵まれ、生育も順調に進み、収穫時期も良かった為、収量も平年並みにあり、品質も良好でした。

令和四年産大豆 集荷



ショールームを見学中



鉄などの肥料原料が山になっています

農事組合長会

視察研修

十一月九日から十一日にかけて、農事組合長会（土井陽平会長）は、道南方面への視察研修を実施しました。

初日は函館まで南下し、五稜郭タワーとベイエリアを巡り、懇親を深めました。

翌日は、株式会社テツゲン室蘭支店の肥料工場を視察。この工場では一九七〇年からホクレンに向けた肥料を製造・販売しており、現在は主に五銘柄の肥料を製造しています。原料の「スラグ」と呼ばれる鉄鋼製造の副産物を乾燥・破碎または造粒技術を用いて、粉状・粒状のケイカル、ミネカル等を製造する工程を見学しました。

最終日は、苫小牧市の北海道クボタビクターセンターを視察。トラクターのショールームや倉庫内を見学した後、トラクター・コンバイン等の最新性能や、近年本格化してきた自動操舵や自動運転について説明を受けました。

絆

～ THE YOUTH FACE ～



佐藤 幸毅さん

妹背牛地区・妹背牛中央

作作物目
水稻



「青年部の日」にてキックベースで交流する佐藤さん

農業を職業にしたきっかけ
私は中学生の頃から「農業をやりたい」という意識があり、兄が農業を継がずに大学に行ったことをきっかけに、本気で農家を継ぐことを決めました。就農したての頃は、辛かったです。現在では少しずつ楽しく思えるようになりました。

自分が考える農業
新規就農から四年目を迎え、農業を続けていくにあたり現状を維持していくことが、いかに重要であることかを感じました。営農については、収量や品質の維持、経営面での維持だったりとまだまだ勉強が必要です。また、農繁期になれば休日もない生活なので、今後年齢を重ねても支障が出ないような自分の健康管理をしていく必要があります。それ



農繁期後に、農機のメンテナンスをする佐藤さん



令和元年の妹背牛豊年盆踊り大会で盟友と共に仮装で参加する佐藤さん（右から2番目）

らを維持していくことが夢であり目標です。

青年部活動について

農業に関する情報交換や先輩方のアドバイスによって仕事への向き合い方や責任感が、青年部を通してより強くなりました。将来、自分が責任のある立場になった時、豊年祈願祭など先輩たちが繋いできた歴史ある事業を継承し、後輩達へ残していきたいです。

共に農業を行う家族について

経営移譲したばかりで、まだまだ経営者として半人前なので、もう少しだけ両親には頑張ってもらいたいです。長い間、第一線で農業をやってきた両親には感謝しかありませんので、できるだけ早く一人前になれるよう精進していきたいです。

新しい試み

今年から八月に家の前でトウモロコシの販売を始めました。道道282沿いでのぼりを立てていますので、興味のある方は、ぜひ立ち寄ってください。妹背牛直売所でも販売していますので、季節になりましたらお買い求めよろしく願います。



ドローンサッカー体験

J A北いぶき青年部 本部視察研修

十一月十日から十一日にかけて、J A北いぶき青年部(楠本学部長)は、本部事業として道内での視察研修を実施し、盟友三二名が参加しました。

初日は、北日本スカイテック株式会社が運営する「TECHNOLOGY FARM 西の里(北広島市)」を訪問しました。こちらは無人航空機の整備拠点でありながら、フライト場や試験田を有しており、活用サポートや新技術開発に取り組んでいます。参加者は、施設・デモフライトの見学やドローンサッカーを体験しました。

翌日は、札幌市の株式会社アミノアップを視察。植物活力資材「Dr. アミノアップ」や様々な青果物から成分を抽出した製品について説明を受けた後、工場内を見学し、製造工程を学びました。



素敵な作品を目指して、試行錯誤を繰り返します

J A北いぶき女性部フレッシュミズ 三支所交流会

十一月四日、J A北いぶき女性部フレッシュミズは、本所大ホールにて三支所交流会を開催し、各支所より合計十八名の会員が参加しました。

深川市のフラワーサロンラ・リユーヌより講師をお招きして、花を長く楽しめて、インテリアとしても人気が高い「スワッグ作り」を実施しました。完成形をイメージしながら花束を作るのは難しく、重ねたりバラしたりを繰り返しながら、参加者各々の素敵な作品を作り上げました。

支所交えた会員同士の交流で、親睦を深めることができました。





十一月九日から十日にかけて、北いぶき花卉蔬菜振興協議会（谷水敏和会長）は、道内研修を実施し一〇名の生産者が参加しました。

初日には、ホクレンの工場施設である「札幌野菜センター」（石狩パッケージセンター）を訪問し



大規模施設の南瓜の保管・選果を視察

ました。カット野菜原料が保管されておられ、訪問時には、八月から各JJAより集荷された南瓜の選果作業を行っていました。

翌日は、アクセスサッポロにて開催されていた「2022北海道ビジネスEXPO」を視察。展示ブースには道内外より先端技術、IT技術、環境関連技術など、多岐にわたる部門の企業が出展していました。参加者たちは農業用機械・技術を持った企業を中心に視察をしていました。

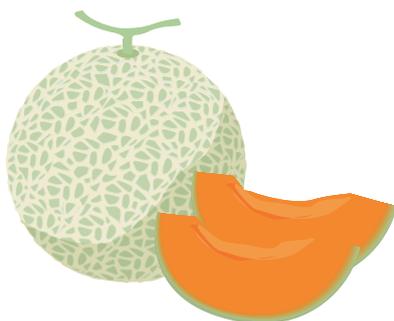
北いぶき花卉蔬菜振興協議会 道内視察研修



北いぶきメロン生産組合 道外視察研修

十一月十四日から十七日にかけて、北いぶきメロン生産組合（松永徹組合長）は、道外での研修を実施し、生産者七名が参加しました。

今回の研修では、メロンをはじめとする青果物の種子生産を行っている横浜植木株式会社が運営している静岡県「菊川研究農場」を視察。その農場は、生産者・消費者のニーズに合わせた品種開発を実際に行っており、数多くのピニールハウスが立ち並ぶ農場施設内を見学し、メロンの品種開発現場について肌で感じました。





新宿ベジフルにて



福島青果にて

北いぶきブロッコリー生産組合・ 北いぶき蔬菜類生産組合 道外市場訪問

十一月二十四日から二十六日にかけて、ブロッコリー生産組合（谷水敏和組合長）と蔬菜類生産組合（眞島秀樹組合長）は、道外への市場訪問を実施し、生産者三名が参加しました。

初日、ブロッコリー生産組合は京都府の京都青果市場を視察。蔬菜類生産組合については、福島県の福島青果市場を視察しました。

二日目は、ブロッコリー生産組合は神奈川県横浜丸中青果を視察した後、両組合ともに東京都の「東京新宿ベジフル株式会社」を訪問し、道外出荷先である市場での状況を確認しました。



理事会報告

第十回理事会（十一月二十五日付）

【報告事項】

管理本部

- 当面における農協行事予定について
- 固定資産の取得・処分・主要修繕費の支出について
- 組合員の加入・脱退等の申し出について
- 疑わしい取引の届け出状況について
- 余裕金の運用計画額について
- 準職員の動向について
- 永年勤続職員表彰対象者について

金融共済事業本部

- 長期資金の貸出し状況について
- クミカン報告書の様式変更について
- J Aバンク業務継続要領（道内版）の一部改正について
- 「クミカン収支見込み」の送付について

営農販売事業本部

- うるち米をめぐる情勢について
- 令和四年産米施設検査見込数量について
- 令和四年産農畜産物販売支払高見込みについて
- 令和四年産そばの精算について
- 令和四年産中間米・屑米精算について
- 令和四年産施設調製大豆の仮渡

金について

- 令和四年産米集荷奨励対策金の支払について

- 令和五年営農計画書に係る主食用米販売収入計画について

- 令和四年産花卉・蔬菜の取扱実績について

購買施設事業本部

- 購買施設事業実績検討表（十月末）について

【決議事項】

第一議案

令和四年度事業収支見込（十月末基準）及び、定時給与（年末手当）の支給について

第二議案

外部出資について

第三議案

「福利厚生規程」の一部改正について

第四議案

出資金の譲渡について

【協議事項】

令和五年営農計画書営農販売関係収益・費用の単価について

信用限度八〇%を超える貸付の承認について

令和四年度年末組合員懇談会の開催に係る日程及び提出議案等について



畑醸造(株)で施設内を見学



JA金沢市 ほがらか村の農産物販売所

女性部沼田支部

役員視察研修

十月二十五日から二十八日、女性部沼田支部（加藤早苗支部長）は、役員視察研修を実施し、現役員五名と令和二年よりコロナ禍で研修が中止となっていた、前役員の二名と北陸方面を視察しました。

最初にJA金沢市ほがらか村本店にて、加賀野菜を中心とした農産物直売所を視察。次に沼田町と姉妹都市である富山県小矢部市の畑醸造株式会社を訪問すると、桜井小矢部市長が挨拶にお見えになりました。

醤油醸造の工場を見学し、作業工程について説明を受けました。伝統の味と技を残していくには販売も大切な工程の一つであり、生産者として印象に残った研修先となりました。

その後は、津沢あんどんふれあい会館を視察。沼田町との深い関わりやあんどんへの熱い情熱を感じる事が出来ました。参加者一同は「非常に有意義で学び多いものだった。今後の地域農業の発展に繋げていきたい」と役員研修を振り返りました。



十月二十七日、女性部秩父別支部（戸村千代美支部長）は、本所にてサンキャッチャー作り講習会を開催しました。

サンキャッチャーとは、主にクリスタルガラスを使ったストラップ状のインテリアで、光が当たると乱反射して虹のように輝きます。

参加者の皆さんは、クリスタルガラスに取り付けたストラップ部分に装飾用のビーズや石を付け合わせ、自分好みの作品作りに取り組みました。

女性部秩父別支部 サンキャッチャー作り 講習会



十一月七日、JA北いぶき女性部沼田支部フレッシュユミズ（鶴山八千子会長）は、研修旅行を実施し、会員四名が参加しました。

江別市の陶芸工房アトリエ陶にて、陶芸体験を行いました。講師のお手本に習い、粘土をこねたり、ろくろを回しながら形を整えたり、難しい作業ではありましたが、皆さん素敵な陶器が出来上がりました。

その後は同施設内で、自社農園の野菜などオーガニック食材を使用した「ファームレストラン食祭」にて昼食を取りました。陶芸工房で作った食器で彩られた食事に会話を弾ませて終始賑やかな研修旅行となりました。

女性部沼田支部フレッシュユミズ 研修旅行



皆さんに喜んで頂けたようです



早朝からたくさん豆腐を作りました

女性部妹背牛支部 助け合い組織運動

十一月九日、女性部妹背牛支部（西村智子支部長）は、助け合い組織運動として、独居老人宅（一部生活支援施設入居者含む）に手作り豆腐を配布しました。

早朝より役員五名と連絡委員三名の八名で豆腐作りをし、午後から民生委員の方に協力して頂き約一四〇戸のお宅に配布を行いました。

三月に伺った際に、「次回は、手作り豆腐待ってるね」とお言葉を頂いていた事もあり、「楽しみに待っていたよ」「美味しいお豆腐いつもありがとう」と言ってもらい、大変な作業ではありますが、それを励みに今後も取り組みさせていただきます。



女性部妹背牛支部 役員道外研修

十一月十五日から十八日、女性部妹背牛支部（西村智子支部長）は、富山県・岐阜県・京都府方面への役員道外研修を実施しました。

最初に訪問した富山県では、JANAのはな女性部と交流会を行いました。今回の道外研修の視察先



赤いスーツの方が谷井部長

を決めるにあたり、日本農業新聞にて「JANAのはなで女性組合長が就任し、なおかつ女性部長も兼任している」という記事が掲載されていたことをきっかけに、交流会を実施する運びになりました。

JANAのはな女性部（谷井悦子部長）は、八支部三六七名が在籍しており、JA北いぶきと同様に各支部の支部長が本部役員を務める体制です。事業展開は実に活発で、平成三〇年にはキッチンカーをオープンし、地産地消の推進・安心安全な食の提供PRや、円滑な地域との交流を目指した活動を実施。コロナ禍で本部活動が難しくなる中、各支部の更に小さなグループでの活動『ぐる活（グループ活動）』を行っています。

JANAのはな女性部谷井部長からは、女性部活動の大切さを教えて頂くとともに、農協役員になつたきっかけを教えて頂き、大変有意義な交流会になりました。

研修二日目は、岐阜県に移動し白川郷や高山の街を散策し、三日からは京都府で二条城・本能寺等を見学しました。



近江町市場にて



白川郷にて

女性部秩父別支部

役員研修

十一月十七日から二十日にかけて、女性部秩父別支部（戸村千代美支部長）は、北陸方面への役員研修を実施しました。

初日は、福井県にある大本山永平寺に行き、寺院内を見学。翌日は、世界遺産である岐阜県の白川郷を訪れ、国指定重要文化財「和田家」を間近に見ることができました。

その後、石川県金沢市に移動し、歴史的建造物が立ち並ぶ「ひがし茶屋街」を散策。また、最終日には「長町武家屋敷跡」や日本三大名園のひとつ「兼六園」を見学しました。

最後は、同じく金沢市の「近江町市場」を視察。青果店では秩父別産のものと比較をしながら、ブロッコリー等の野菜を見て回り、ブロッコリー等の野菜について話を伺ったりしました。



前列えんじ色のエプロンを着けている方々が妹背牛町地域おこし協力隊の2名



参加者みんなで調理しました

女性部妹背牛支部フレッシユミズ

冬期レクリエーション

十一月二十二日、女性部妹背牛支部フレッシユミズ（渡会真紀会長）は、妹背牛町保健センターにて、妹背牛町地域おこし協力隊のホー・ティ・ヌー・クインさん、ファム・ティ・モさんを講師に招き「ベトナム文化・料理を学ぼう！」という題で冬期レクリエーションを開催し、会員六名とフレッシユミズ体験入会者二名が参加しました。

初めに、講師の二名よりベトナム文化や日本と似ているところや異なるところについて説明して頂きました。似ているところは、「主食はお米」、「箸を使う」などで、日本と異なるところは、「ゴミ収集の方法」、「買い物をするお店」、「バイクが多く右側通行」という事でした。

その後は、ベトナム料理のバインセオ（ベトナム風お好み焼き）とチエー（緑豆ぜんざい）を教えてもらい美味しく頂きました。

参加者は、異文化を知る貴重な体験になり楽しい時間を過ごしました。

化学肥料購入支援金 給付事業説明会



写真は沼田地区

北海道補助事業として、高騰する肥料購入費の負担を軽減する目的で実施される化学肥料購入支援金給付事業について、十一月十五日、十六日に北いぶき管内各地区にて、申請に向けての説明会を開催しました。

給付申請書・対象肥料銘柄一覧の配布や、給付規定に関する注意事項等を説明。また、各生産者に向けて対象期間内の肥料発注書を配布し、内容について確認頂きました。

永年勤続職員表彰

十一月二十一日、JA北いぶきは令和四年に勤続三〇年、二〇年を迎えた職員に永年勤続表彰を行い、JA黒田組合長より記念品と感謝状が贈呈されました。

今回表彰された職員は次の通りです。

【勤続三〇年】

今井 信一

(沼田支所長兼沼田支所花卉蔬菜課長)



今井支所長



【勤続二〇年】

毛利 隆仁

(施設事業部次長)

加賀美 玲

(施設事業部農機車輛課長兼燃料課長)

植田 博衣

(管理部経理電算課経理電算係兼同部融資審査課融資審査係)



左から、毛利次長、加賀美課長、植田係

PHOTOだより



10月30日、青年部妹背牛支部は、米消費拡大新米キャンペーンに参加し、コープさっぽろにしの店にて産地PRを行いました



12月6日、女性部妹背牛支部（西村智子支部長）は、伝筆講習会を開催しました

職員動態

□採用 準職員（十二月一日付）

小松 綾子

営農推進事業部営農推進課営農推進係

JAの自動車共済 事故時・故障時 安心サービス に頼れる



24時間・365日いつでも受付!! 毎日のカーライフをサポートします!!

▶ 夜間の交通事故も安心 ☎ 0120-258-931

◆ 事故受付サービス ◆

最も不安な“事故直後”をサポートする安心のサービスです。

※サービスは、JAの営業時間外にフリーダイヤルへご連絡いただいた事故が対象となります。サービスのご利用にあたっては、一定の条件があります。

夜間休日現場急行サービス

平日:0~8時、17~24時、土日・祝日:終日



ALSOK対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。

夜間休日初期対応サービス

平日:17~21時(対応は22時まで)、土日・祝日:9~21時(対応は22時まで)



スタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応を行います。

休日契約者面談サービス

金曜・祝前日:17~24時、土曜・休日、日曜・祝日:0~17時



スタッフがご利用者さまを訪問し、事故に関するご質問・ご相談に親身におこたえます。

▶ 突然のトラブルも安心 ☎ 0120-063-931

◆ レッカーサービス ◆

片道100kmまでのけん引



脱輪時の引き上げ



◆ ロードサービス ◆

キーの閉じ込み



バッテリーあがり



スペアタイヤ交換



ライト・ヒューズ交換



オイル点検・補充



ガス欠時のガソリン補充



※30分程度で対応可能な応急修理が対象となります。※部品・オイル・ガソリン代は別途有料となります。

事前にJAまたはJA共済サポートセンター(JA共済事故受付センター)に要請された場合に本サービスの対象となります。

(ご自身で手配された場合は本サービスの対象外となります)。

JAの営業時間内は、ご契約先のJAまでご連絡ください。※サービスのご利用にあたっては、一定の条件があります。

この資料は概費を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

お問い合わせは

JA北いぶき

本所 共済課 0164-33-2011
妹背牛支所 貯金共済課 0164-32-2451
沼田支所 貯金共済課 0164-35-2221

JAの自動車共済にご加入の皆さまへ **大切なお役立ち情報のご案内**

JA共済



事故時・故障時などまさか!のとき、
スマートフォンアプリからすぐ連絡できます。Webマイページ

交通事故時や災害時における事故連絡がスムーズに行える
「JA共済アプリ」をご登録ください。



JA共済アプリのご登録は、Webマイページからが便利です。

JA共済アプリ 充実機能紹介

もっと便利に

Webマイページへ ワンタッチアクセス

- WebマイページとID連携し、ご自身の加入内容の確認ができます。
- ご契約の住所・電話番号の変更などの異動手続きが可能です。



もっと身近に

JAへの連絡が 手軽に

- 契約情報をもとに、支店単位で契約JAが自動表示され、検索機能を使わずにすぐに連絡することができます。



もっと便利に

JA支店担当者 とオンライン面談が可能に

- いつでも、どこでも、契約相談等でJA支店担当者とオンライン上での面談ができます。



もっと安心・満足に

毎日の暮らしに役立つ 充実したコンテンツ

- 健康増進(げんきなカラダプロジェクト)をはじめ、お金・リスク、防災・防犯、食・くらし等のお役立ちコンテンツの閲覧が可能です。
- 気になる共済の資料請求や掛金試算も可能です。



もっと便利に

すぐに事故連絡 (くるま・いえ)



交通事故時・災害時の事故連絡やレッカーロードサービスなどの安心サービスの手配が簡単にできます。

Webマイページの契約情報やモバイル機能(カメラ・GPS)を使い、どの契約でどんな事故があったかをすぐに連絡可能です。

(安心サービスの詳細につきましては、裏面をご覧ください。)

※アプリのご利用時の通信料はご利用者さまのご負担となります。

※本アプリはスマートフォン向けアプリのため、フィーチャーフォンではご利用いただけません。また、お使いのスマートフォンの機種・設定によってはご利用いただけない場合があります。

組合員・利用者の皆様へ



新型コロナウイルス感染症にかかる 入院共済金等のお支払いについて

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復を心よりお祈り申し上げます。

JA共済連(全国共済農業協同組合連合会、以下「当会」)では、**令和2年4月から実施しております新型コロナウイルス感染症にかかる入院保障の特別取扱い(以下「みなし入院」)のお支払い対象者について、令和4年9月26日(月)より、以下のとおり見直します。**

何卒ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

ポイント
1

「みなし入院」のお支払い対象者について

令和4年9月26日(月)以降、医師により「新型コロナウイルス感染症」と診断された方のうち、**重症化リスクの高い以下の方**とします。

● 重症化リスクの高い方 ●

65歳以上の方

入院を要する方

妊娠中の方

**重症化リスクがあり、新型コロナウイルス治療薬の投与または
新型コロナウイルス罹患により新たに酸素投与が必要な方**

※令和4年9月25日(日)以前に新型コロナウイルス感染症と診断された方につきましては、重症化リスクにかかわらず、従前どおりのお取扱いといたします。

参考 新型コロナウイルス感染症と診断された場合のお支払い範囲

ケース		診断日*	
		9月25日以前	9月26日以降
入院された場合		○ お支払対象	○ お支払対象
宿泊・自宅療養された場合 (特別取扱い)	重症化リスクの高い方	○ お支払対象	○ お支払対象
	上記以外の方	○ お支払対象	✗ お支払対象外

※検査日ではなく、診断日での判断となります。

ポイント

2

「みなし入院」の取扱いを開始した経緯について

入院共済金等は、共済約款において「医師による治療が必要」であり、「自宅等での治療が困難」なため、「病院または診療所に入り」、「常に医師の管理下において治療に専念する」場合にお支払対象とする旨、定めています。

令和2年4月当時、新型コロナウイルス感染症に罹患され、病院または診療所への入院が必要な状態にも関わらず、病床の逼迫等の事情により入院することができない状況が発生したことを受け、当会では、組合員・利用者の「安心」と「満足」を提供するというJA共済事業の使命のもと、医師等の管理下で宿泊施設や自宅での療養を余儀なくされた場合も、「入院」と同等に取り扱う特別取扱い(みなし入院)を開始いたしました。

ポイント

3

今回の見直しの背景について

今般、政府より新型コロナウイルス感染症に係る発生届の対象範囲について、令和4年9月26日(月)以降は全国一律に「重症化リスクの高い方」に限定されることが公表され、あわせて療養の考え方についても見直されることとなりました。

今回の政府による措置等を踏まえると、重症化リスクの高い方以外(医師による発生届の対象とならない方)については「常に医師の管理下において治療に専念する」状態との判断ができなくなることから、令和4年9月26日(月)以降の「みなし入院」のお支払い対象者について、見直すことといたしました*。

※今後、法令の改正等がなされた場合には、必要に応じて更なる対応を行う可能性があります。

ポイント

4

見直し後のご請求手続きについて

見直し後のご請求手続きにつきましては、「重症化リスクの高い方であること」の証明が必要となります。本人確認書類や母子手帳など、組合員・利用者あるいは医療機関等の負担とならないよう検討し、後日あらためて当会ホームページ等にてご案内いたします。

お問い合わせ

本件に関するお問い合わせについては、下記にて承ります。

なお、個別のご契約内容(共済金の支払いに関する事項等)については、ご契約先のJAへお問い合わせください。

JA共済相談受付センター

電話番号

0120-536-093

受付時間

午前9時から午後6時(月曜日～金曜日*)
午前9時から午後5時(土曜日*)

※祝日を除きます。

※当会ホームページ(<https://www.ja-kyosai.or.jp/>)においても、新型コロナウイルス感染症に関連した当会の取組みについて、随時最新の情報を掲載しておりますので、あわせてご確認ください。

22485000043

● 年末・年始の営業時間について ●

部 門 月 日	給 油 所 (セルフスタンド)		貯金共済店舗	A T M		生産資材店舗 農機車輛店舗	事 務 所 (融資経済課 窓口含む) 営農販売事務所 (秩父別)
	秩父別	妹背牛・沼田		本 所 (秩父別)	支 所 (妹背牛・沼田)		
12/29 (木)	7:30~ 19:00	8:00~ 18:00	9:00~ 16:00	9:00~ 18:00	9:00~ 18:00	9:00~ 16:30 (仕事納め)	8:45~ 17:00 (仕事納め)
12/30 (金)	7:30~ 19:00	8:00~ 18:00	9:00~ 16:00 (仕事納め)	9:00~ 18:00	9:00~ 18:00		
12/31 (土)	7:30~ 15:00	8:00~ 15:00					
1/1 (日)			休 業	休 業	休 業		
1/2 (月・祝)	休 業	休 業				休 業	休 業
1/3 (火)							
1/4 (水)	7:30~ 19:00	8:00~ 18:00	9:00~ 15:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00		
1/5 (木)	7:30~ 19:00	8:00~ 18:00	9:00~ 15:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00		
1/6 (金)	7:30~ 15:00	8:00~ 15:00	9:00~ 15:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	9:00~ 15:00	8:45~ 15:00

(株)まちづくりぬまた 物産サービスセンター	12月29日 12月30日~1月5日 1月6日以降	8:30~17:30 休 業 8:30~17:30 (土・日・祝日 8:30~17:00)
ダ・マルシェ 沼田店	12月31日 1月1日・2日 1月3日以降	9:00~17:00 休 業 9:00~19:00
(株)ホクレン商事 (エーコープ秩父別店)	12月28日・29日・30日 12月31日 1月1日・2日 1月3日 1月4日以降	9:00~19:00 9:00~18:00 休 業 10:00~18:00 10:00~19:00

ホームページの
新着情報でも営
業時間をお知ら
せしています

